

【ねがいましては】

平成10年8月25日

第107号

共和珠算学習塾

「手出し無用」

毎年9月にお渡しする【ねがいましては】は、大体がキャンプのことのような気がします。今年は久々の4泊5日ということで、のんびりしようかと結構楽しみにしていました。

いざ本番・・が終わって、もう終わり？というくらいあつという間に終わってしまいました。

終わってみて、まずは一人一人に感謝の言葉を送らなければなりません。その中でも心に残ったことを、幾つか並べてみたいと思います。

まず、Mちゃん、君は同じバンガローの中で財布をなくしてしまった子のために、いろいろとアイデアを凝らして搜していたね。私には、それがとても暖かくうれしく感じられました。小さな紙切れに、その財布の特徴や色などを書き記して配って歩いていましたね。

そしてYちゃん、Hちゃん、Aちゃん、その財布を見つけるために、いつしょになって歩き回っていました。人のために動けること、それはとてもすばらしいことです。

もうひとりのYちゃん、君は学校が違うのに、ただ一人よく参加してくれました。多くの先輩たちにかわいがられていましたね。まわりの子達はとてもやさしくて、トランプなどしていても、すぐに仲間に入れてくれましたね。その先輩たちのやさしさを忘れないでね。

中学生の女の子達、Jちゃんは、小学生たちの面倒を本当によく見てくれました。寝かしつけなど、なかなか出来ないことだと思うのです。お料理の面でも、とてもよく面倒を見していました。

中2のみなさん、ちょっとしたトラブルを解決しようとがんばっていましたね。しっかりと友達のことを思い、高校生スタッフでは出来ない面を、よくカバーしてくれました。

小学生でただひとりの男の子君、君はこの一年で見違えるほど成長しました。どこへ放り出されても、しっかりとたくましく生きて行ける力を身につけていました。

そして高校生スタッフ諸君、この長い塾との付き合いの中で、私はあまり具体的なことは語ってはきませんでしたが、なんとなく大人へのステップを自分で歩いて行こうとするのがわかりました。「気がつく」ということ、これは長い人生の中で様々な人たちと触れ合って行くわけですが、私は「気がつく」ということは、自分を無にして他人に奉仕すること、他人の喜びを自分の喜びとして感じることの心の現われなのだと思うのです。それこそが大人への階段を上る重要なステップの一つだと思います。その「気がつく」ということに触れていたように思いました。自分たちの判断で行事をこなすことに責任を感じていました。完璧とは言いませんが、4泊5日の生活の中で、リーダーシップを取ることの重さを感じていただいたと思います。

「気がつく」・・この言葉をもっともっと大きな物にして自分の中にインプットしてください。きっと、社会の中で必ず役に立つことだと思います。「思いやりの心」と「やさしさの心」が「他人への思い」を育て、それが自然と「気がつく」という行動につながっていくのではないかと思うのです。

さて皆さん、新学期です。クラスのみんなや、先生たちとの生活がスタートします。気がつく行動、どんどんやってみよう！

そして今年のキャンプを社会人として盛り上げてくれた卒業生、鈴木君。ひよんなことで手伝ってくれた、コニカのアンちゃん、船山君。留守中のネコ君たちの面倒を見てくれた、高橋さん、平井さん、どうもありがとうございました。

☆9月の予定・・10日（木）そろばん・あんざん・コンプあんざん・そろばんまつり申し込み締め切り

24日～26日・・そろばん4級以下・あんざん1級以下・コンプあんざん検定・教室

27日（日）・・そろばん3級以上・あんざん段位・検定・・中央商業

* ドルセント交換会に関しては、皆さんあてにハガキが届きます。